

主要事業の実施報告 (2018年6月-11月) 及び今後の主要事業

2018年 11月 17日



公益社団法人

日本ユネスコ協会連盟

民間ユネスコ運動の 普及・実践

2018年度ブロック別研究会

ブロック	2018年度開催	主管
北海道	10/14 (日)	北海道ユネスコ連絡協議会
東北	10/13 (土) ~ 10/14 (日)	塩釜ユネスコ協会
関東	9/ 8 (土) ~ 9/ 9 (日)	茨城県ユネスコ連絡協議会
中部東	9/29 (土) ~ 9/30 (日)	諏訪ユネスコ協会
中部西	11/10 (土) ~ 11/11 (日)	南砺ユネスコ協会
近畿	10/27 (土) ~ 10/28 (日)	彦根ユネスコ協会
中国	9/29 (土) ~ 9/30 (日)	宮島ユネスコ協会
四国	10/27 (土) ~ 10/28 (日)	大洲ユネスコ協会
九州	11/10 (土) ~ 11/11 (日)	熊本ユネスコ協会

台風の影響で二日目休止のブロックがありましたでしたが
全ブロック盛会のうちに終了いたしました！ どうもありがとうございました。

民間ユネスコ運動の日 「平和の鐘を鳴らそう！」キャンペーン

7月19日の「民間ユネスコ運動の日」前後から8月末にかけて「平和の鐘を鳴らそう！」など平和の大切さを地域社会の中で啓発する活動を行った

約110のユネスコ協会・クラブが実施



日中韓青年文化フェスティバル

- 主 催：中国・北京市ユネスコクラブ協会
- 協 力：北京市豊台区人民委員会、同区教育委員会、
北京第12高等学校ユネスコクラブ
- 日 程：7月26日（木）～31日（火） ※26日は連盟事務局で事前研修
- テーマ：人工知能と今後の課題

- 団 長：望月浩明評議員
- 参加校：湘南学園高等学校
高水高等学校
富山国際大学附属高等学校
(全てユネスコスクール、各校生徒4名、引率教員1名)



サイエンススクール

協力：MSD株式会社

ふくいユネスコ協会、佐賀ユネスコ協会

人々の健康や身体に関する科学の力を伝え、軟膏作りを体験する。
今年開催予定の6校のうち、3校で実施した。



10月18日	福井大学教育学部附属義務教育学校
10月11日	松江市立中央小学校
11月2日	佐賀市立西川副小学校

「守ろう地球のたからもの」 育樹事業

- 世界遺産「白神山地」周辺地域で社員ボランティアによる育樹活動
- 6月30日～7月1日に三菱UFJフィナンシャル・グループ社員45名が参加。除伐などを実施。
- 世界遺産活動特別大使犬ワンバサダー “わさお”も参加



第43回みどりの絵コンクール

- 「守ろう地球のたからもの」プロジェクトの一環として、三菱UFJ環境財団との共催で実施。
- 絵を描くことを通じて子どもたちが自然に親しみ、自然の美しさ・大切さを知ることが趣旨とし、9月13日まで作品を募集。
- 審査員として鈴木理事長が出席。10月26日審査会開催。
- 12月8日授賞式予定。



第9回ESD国際交流プログラム

- 三菱UFJ銀行の協力のもと、ユネスコスクールにおける持続可能な開発のための教育（ESD）の普及を目的に、高校生を対象に実施。
- 11/19締切（消印有効）で現在募集中。
- 今回は、ドイツとフランスに派遣する。

訪問先（予定）

ドイツ・ハイデルベルグユネスコスクール

フランス・パリ

- UNESCOパリ本部 訪問
- UNESCO日本政府代表部表敬訪問
- 三菱UFJ銀行パリ支店 訪問
- 世界遺産 見学 等



2018年度 ユネスコ協会ESDパスポート

- 今年度は31ユ協が参加。
- 10月から、児童・生徒がボランティア活動を通じての学びを発信する「体験発表会」が各地で開始。
(10/26岡山ユネスコ協会、10/30新宿ユネスコ協会)



岡山での様子

高校生カンボジアスタディツアー

共催：公益財団法人かめのり財団

■日程：8月4日（土）～11（土）

※4日（土）は成田にて事前研修

■参加者：ユネスコスクール/ユ協
推薦高校1～3年生10名

■団 長：丸尾直彦大分県ユネスコ協会
連盟会長

カンボジア・プノンペンおよびシエムリアップを訪れ、在カンボジア日本大使館、UNESCO事務所への表敬訪問を行うとともに、世界寺子屋運動、世界遺産活動の視察・体験を行った。



寺子屋リーフレット制作プロジェクト

共催：一般社団法人デジタル表現研究会(D-Project)
株式会社教育新聞社

募集期限の6月15日（金）までに、下記19校の参加が決定。

北海道	1	海星学院高等学校	大阪府	12	箕面市立豊川北小学校
	2	北海道札幌平岸高等学校		13	関西学院千里国際中等部・ 高等部
東京都	3	西町インターナショナル スクール		14	羽衣学園高等学校
	4	東京都市大学等々力中学校	奈良県	15	奈良教育大学附属中学校
	5	東京都立三田高等学校	兵庫県	16	兵庫県立武庫荘総合高校
神奈川県	6	神奈川県立有馬高等学校	広島県	17	廿日市市立宮島中学校
	7	北鎌倉女子学園中学・高校	福岡県	18	福岡県立武蔵台高等学校
愛知県	9	愛知県立津島北高等学校	宮崎県	19	西都市立三財小学校
三重県	10	暁学園暁小学校			
	11	津田学園中学校			

追加の応募も受け付けます。
詳しくは事務局へ。

第13回（2017-18） 三菱アジア子ども絵日記フェスタ

グランプリ受賞者の来日イベント

- 2018年7月24（火）～28日（土）、各国グランプリ受賞者を日本に招待した。
- 7月25日（水）には横浜ロイヤルパークホテルで国際表彰式およびレセプションが行われ、大橋会長、鈴木理事長らが表彰楯やメダルの贈呈を行った。
- 参加者は、ユネスコスクールである、横浜市立幸ヶ谷小学校との交流活動や共同作品制作、東京ディズニーランドへのエクスカーションを楽しんで交流を深めた。



第24回AFUCA執行委員会 アスタナ（カザフスタン）

第24回AFUCA執行委員会の開催

- 2018年7月1日にAFUCAの執行委員会がカザフスタンのアスタナで開催され、野口副会長はゲストとして、また日ユ協連からは鈴木理事長と担当職員が出席した（写真① 会場）。
- **タジキスタンとフィリピン**が新規加盟。加盟国は14カ国となった。将来の共通の活動やAFUCAのホームページについて協議した。
- 7月2日～3日には「国際会議アスタナ」（写真②）では、講演やパネルディスカッションが行われ、SDGsや民間ユネスコ運動の役割について活発な議論があった。



被災地支援活動（お見舞い金の御礼）

◆「平成30年7月豪雨」

18日間という短い期間で、全国の78のユネスコ協会やクラブ、6個人から、総額2,965,350円という多額のお見舞金が集まりました。

この金額を3等分した98万8千450円を、とりわけ被害が深刻だった、愛媛、岡山、広島の各県連の口座に8月6日に振り込ませていただきました。

◆「北海道胆振東部地震」（9月）

15日間に、81ユネスコ協会・クラブ並びに5個人から、総額201万163円という多額のお見舞金が集まり、全額を10月4日付けで北海道ユネスコ連絡協議会の口座に振り込ませていただきました。

●広島県ユネスコ連絡協議会

県連からのお見舞金を足して100万円とし、中国新聞社会事業団への義援金として9月19日亀井会長から事業団へ直に目録を贈呈しました。

皆様への感謝とともに、県連として引き続き、頑張っって参りたいと存じます。

●愛媛県ユネスコ連絡協議会

県内でも被災状況が深刻だった大洲ユネスコ協会に託したところ、四国ブロック内のユ協から大洲ユネスコ協会へのお見舞金と合わせた120万円を被災した教育関係公共施設(小中学校・公民館・図書館)と文化財の合わせて12カ所に直接手渡しで届けられた旨、報告をいただきました。

●岡山県ユネスコ連絡協議会

8月10日に地元新聞社内(山陽新聞社会事業団)にて、岡山豪雨義援金としてお渡ししました。なお、同社会事業団から岡山県庁(生活支援室)に渡され被害状況により市町村に配分されています。

東日本大震災 子ども支援募金

ユネスコ協会 就学支援 奨学金

被災によって経済状況が悪化した家庭の中学3年生を対象に、高校進学(就学)のための給付型奨学金を、一人あたり3年間にわたり支援する事業。(※震災で親を亡くした子どもを除く)

- 8月、昨年度と一昨年度に採用した奨学生に対し、2018年度第2四半期分の奨学金を給付した。

- **今年度の新規奨学生の募集は以下の5市町で実施。**

岩手県：陸前高田市、大槌町

宮城県：気仙沼市、石巻市、

東松島市

この度は、奨学金を送っていただき、ありがとうございます。また、事業に賛同する全国の企業・団体・個人の方々からの募金にとっても感謝しています。

先日、第一志望の高校に合格し、入学しました。今はとても楽しい高校生活を送っています。私がかんたにも充実した生活を送れるのは、みなさんの募金のおかげです。これからは、その募金によって成り立っている奨学金を大切に、大切に使用していきたいと考えています。

これからもよろしく願います。

(奨学生からのお手紙)

引き続き募金のご協力をお願いします。

MUFG-ユネスコ協会復興育英基金

三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）と協働し、震災によって親を亡くした小学校から高校までの児童・生徒を対象とした奨学金を高校卒業まで給付。

- 8月、11月、2018年度第2期分第3期分の奨学金を送金した。
- 7月、第7回TOMODACHI・MUFG国際交流プログラムを実施した。奨学生1名を含む岩手・宮城・福島県中高生の20名、教職員1名の合計21名が本プログラムに参加。7月26日から8月9日の2週間、米国のロサンゼルスで実施された。

MUFGユニオンバンク訪問



フェアウェルパーティで盆踊り【会津磐梯山】



第5回 アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム

大震災の教訓を全国の学校の減災教育に活かすプログラム

- 7月、今年度の助成校20校が決定。※助成校一覧はWebに掲載中。
- 助成校に助成金10万円を支援した。
- 9月17日～19日に、及川幸彦理事の指導・コーディネートのもと、気仙沼市や石巻市等をフィールドにした教員研修会を開催。

助成校の教員33名が参加し、防災教育の理論や被災地の実践を学んだ。



震災遺構・石巻市立大川小学校の旧校舎の見学（ご遺族の方による説明）



気仙沼市立階上小学校での防災復興マップ作り授業視察

『あいづ相撲場』完成

UNESCOスポーツチャンピオンの横綱・白鵬関の呼びかけで、東日本大震災後、力士会の力士の方々からの寄付により、山田町と気仙沼市で相撲場の再建支援を行ってきた。この度、新たに会津若松市で相撲場が完成した。

- 6月19日、「あいづ相撲場」の土俵開きの式典が行われた。
- 同日、同相撲場を会場に全会津中体連による相撲競技大会が開催され、中学生約100名、保護者、学校関係者や地域住民などが集まった。
- 日ユ協連の野口副会長が式典に出席し、会津若松市長より感謝状を授与された。
- 力士会現会長の横綱・鶴竜関も式典に駆けつけ、地元の中学生を激励した。



『教育復興支援レポート2017』発行

募金者の方々に、
募金の使途や支援した子どもたちの
ようすを伝える報告書が完成。

募金者や会員の皆さまに配布した。



東日本大震災
教育復興支援レポート
2017

世界寺子屋運動
世界遺産・未来遺産
ほか

書きそんじハガキ・キャンペーン 2019 募集中！

- 「書きそんじハガキ・キャンペーン2019」を開始！
※ユネスコ協会便10月号で募集中
 書きそんじBOX、チラシおよびポスターを制作中。



- Ⓛ チラシ
- Ⓜ ポスター
- Ⓡ ボックス

- 目標は、100万枚
 今回は、ハガキが62円に値上げ / 抽選が2回に

世界寺子屋運動

アフガニスタン／ネパール寺子屋プロジェクト

アフガニスタン

- 教育省との契約に時間がかかり、識字クラス・職業訓練は11月から開始。
- カブール県のバグラミ郡に寺子屋（CLC）建設の準備を進めている。2019年3月から建設開始予定（写真①）
- ヤマ所長が10月に来日し、東北ブ口研に参加。名古屋も訪問。



ネパール

- 小学校クラスや寺子屋運営が継続的に実施されている。寺子屋も1軒設立予定。
- 大人のための小学校クラスなども新たに実施されている（写真②）。



世界寺子屋運動

アンコール／ミャンマー寺子屋プロジェクト

カンボジア・事務所職員来日

ノン・ブッタ所長 9/5-10

ソウム・サベット職員 9/5-12

ユ協・募金者へのご挨拶のほか、識字デーイベント、関東ブロック研究会in水戸、長浜ユネスコ協会訪問、小・中学校への出前授業を行った。

ミャンマー・継続教育プログラム

バゴー地方域の24村で、480人の小・中学校退学青少年に対し「識字」「算数」「生活スキル（保健衛生など）」を含む継続教育を実施中。

ミャンマー識字リソースセンターの調査によると、対象村全体では、中途退学者は1242人いることが判明。今年度は全体の約39%を支援する。



第45回NHK日本賞：日ユ協連賞授与

「 砂漠のトイレ改革 」 (モンゴル) に決定

日本ユネスコ協会連盟賞（企画部門優秀賞）：

E S Dの普及に貢献する優れたテレビ番組の企画を対象に贈られる。



©NHK日本賞

11月9日（金）NHK放送センターにて、ビューレン・ゾヒスト・プロダクション（モンゴル）に対し、鈴木理事長から日本ユネスコ協会連盟賞が授与された。12月、Eテレにて「まるごと見せます！世界の教育コンテンツ（仮）」放送予定。

世界遺産活動 カンボジア

バイヨン寺院彫像修復プロジェクト

アンコール遺跡の一つ、バイヨン寺院における彫像修復・人材育成事業を引き続き実施。2018年3月に第3フェーズが終了し、2018年4月から第4フェーズを開始した。

2018年10月、寺子屋の子どもたち約130人がバイヨン寺院を訪れ、遺跡の歴史を学び、修復を体験した。



ダスキン・クリーンアップマイタウン 世界遺産特別編～日光山輪王寺～

清掃を通じて、世界遺産を体験し、学びを深めることを目的に2017年より開始。

【開催日時】 9月24日（月・祝日）

14：00～17：00

【場所】 日光山輪王寺

※「法華堂」と「常行堂」などを清掃

【主催】 株式会社ダスキン

【協力】 公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟、
日光山輪王寺、日光ユネスコ協会



未来遺産運動

●未来遺産運動10周年記念

丸の内キッズジャンボリーブース出展

8/14-16、未来遺産の団体（ならまちわらべうたフェスタ、見沼たんぼプロジェクト推進委員会）の協力のもと、子どもたち向けのワークショップを実施した。約300人の児童が参加。

●チームエナセーブ未来プロジェクト

2013年から開始した住友ゴム工業株式会社ダンロップとの協働事業。

2018年度は、9カ所の「プロジェクト未来遺産」にて、環境保護活動を実施。

●スターヘリテージプロジェクト

2017年から開始したジェットスター・ジャパンとの協働事業。10月3日、同社員が「プロジェクト未来遺産」の八女福島（福岡県）にて、町家の保全作業を実施した。



普及広報関連

『活動レポート2017』発行

- 2017年度の活動報告をまとめた「活動レポート2017」を発行。
- 全国の募金者、協力者の皆さまに送付。
- ユネスコ協会・クラブへの無償配布については終了。



機関誌『ユネスコ』 7・10月号の発行



「ユネスコ」から「プロジェクト未来遺産」へ（原田 隆・「プロジェクト未来遺産2010」第2回）
「舞式三輪」ではお祭りの衣装を着た子どもたちが活動する

CONTENTS

- 1 未来遺産展覧
パートナーシップ専号
- 4 民間ユネスコ運動70周年
第1回 草の根で広まった民間ユネスコ運動
- 5 近況報告
ユネスコ活動のひろば
ユネスコ協会 協会役員
民間ユネスコ運動のビジョン・ミッション
ESD国際交流プログラム
* 年間報告
* 2018年度ブロック別ユネスコ運動研究
- 11 活動報告
* 第10回ユネスコ協会 子どもの文化遺産
* 民間ユネスコ協会 東日本大震災復興教育委員会
* ユネスコ協会 ESDバースト
* 世界遺産運動
* 未来遺産運動
- 13 活動報告 2017年度年次報告
* 世界遺産運動
* 子どもの未来
- 16 お知らせ・募集

10周年を迎えた未来遺産運動

2009年にスタートした未来遺産運動は、日本の豊かな自然や文化を守り、継承する市民による活動を「プロジェクト未来遺産」として開始し、100年後の子どもたちに伝えていくことを目指している。この10年間で、日本各地に連携と受け継がれてきた町並み、年中行事、里山などを守り、次世代へ継承する66の市民活動を登録してきた。日本の地域が抱える少子高齢化や過疎化などの課題や、生活スタイルの変化によって、地域で育まれてきた町並みや祭り、農林業、動物の生育・生息地といった「地域の宝」の継承が困難な状況となっている。とくに、年中行事や民俗芸能の担い手の確保は急務である。今号では、このような課題と向き合いながら、書から地域の人びとの生活に密着して実施する、「地域の誇り」として構造的に次世代へ継承しようとする活動を紹介する。(p1~2参照)



「野生サケのふるさと」川掃除運動・普及プロジェクト（北原 隆・「プロジェクト未来遺産2010」第2回）
子どもたちと一緒に川の自然環境を守るのも活動の一環だ

CONTENTS

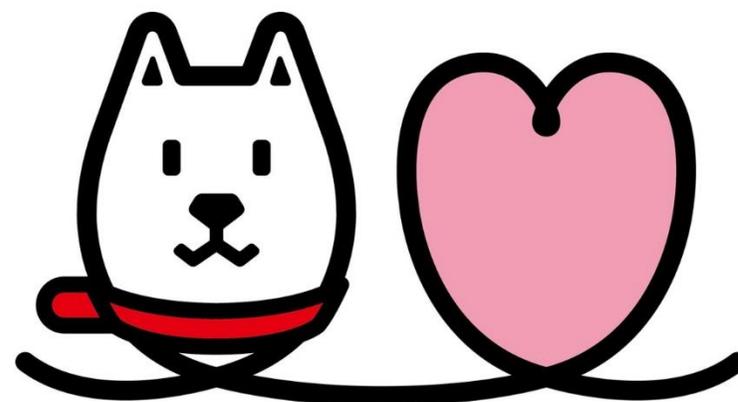
- 1 全国大会レポート掲載
第74回日本ユネスコ国際会議大会 in 四国
- 7 未来遺産運動
* 海外の動き
* ARUCA銀行啓発会
* 日本経済文化フェスティバル
* カンボジア両生類生きたけツアー
- 8 ユネスコ運動の広場
活動報告
* アクサ ユネスコ協会 普及教育プログラム
- 9 活動報告
* 世界遺産運動
* 未来遺産運動
- 11 お知らせ・募集

自然との共生を推進する未来遺産運動

2018年、未来遺産運動は10周年を迎えた。「プロジェクト未来遺産」に登録された活動は、市民が主体となっており、その地域に根付いて育まれてきた文化や自然をまもり、継承していく活動である。かつて人間は、食料や燃料など生活に必要なものを、必要な分だけ自然から採っていた。自然と共生しながら生活を営んでいたが、しかし、技術の進歩による生活スタイルの変化、開発や大規模工事業による自然環境の変化など、私たちの身の回りにある自然は着実に人間の生活に左右されてきた。今号では、生活の持続と自然環境保全を両立する活動（徳島県匠工八幡市、土地を継承して自然を保全する日本のナショナル・トラスト運動の共同者となった活動（岡山県田原市）など、閉鎖的な状況に置かれ自然との共生を推進し、豊かな自然を構造的に次世代へ継承しようとする活動を紹介する。

「つながる募金」 利用開始

- ソフトバンクのサービスに加入し、スマートフォンから専用の募金サイトにアクセスすることで、日ユ協連に継続的に寄付できる仕組みが利用可能に。



つながる募金

日ユ協連ウェブサイト

各事業の最新情報や
記事を順次更新中。

今年度中に全面
リニューアルを予定。

支援のお願い
[寄付金控除]が受けられます。

日本ユネスコ協会連盟について 文字サイズ変更 標準 拡大 English

公益社団法人
日本ユネスコ協会連盟

100円から気軽に、継続的に。

  つながる募金

小さな支援でも、重なれば力になる

スマートフォンから
手軽にできる募金

[詳細はこちら▶](#)

世界寺子屋運動
発展途上国の教育支援

世界遺産活動
世界遺産を守る

未来遺産運動
日本の文化・自然を守る

東日本大震災子ども支援募金活動報告
特設ページはこちら▶

ユネスコ世...
みんな楽しもうね

公式フェイスブック

活動の様子や現地の情報、トピックスなどをいち早くお届けしています。ぜひ「いいね!」をクリックしていただき、多くの方々との情報共有をお願いします。

<http://www.facebook.com/unesco.or.jp>



[登録数]
3,465人
(10月24日現在)

ユネスコ情報マガジン（メール配信）

第243-246号 発行

=====

UNESCO INFORMATION MAGAZINE (EMAIL DELIVERY)

=====

□■□ ユネスコ情報マガジン □■□

《2018年7月26日 通巻第244号》

=====

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

National Federation of UNESCO Associations in Japan

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に
平和のとりでを築かなければならない — UNESCO 憲章前文より」

=====

目次

■TOPICS■

- 「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」横浜にて開催中
- 「かざして募金」はじめました
- 2017年度の活動をまとめた冊子「活動レポート2017」完成

=====

■情報カレンダー■

- 第43回「みどりの絵コンクール」作品募集

=====

★Facebookのフォローも募集中。下記サイトに「いいね！」をお願いします。

<https://www.facebook.com/unesco.or.jp>

=====

■TOPICS■

「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」横浜にて開催中

=====

日本ユネスコ協会連盟では、三菱広報委員会およびアジア太平洋ユネスコ協会クラブ連盟とともに、1990年から「三菱アジア子ども絵日記フェスタ」

- 月1回発行
(臨時号を除く)
- [読者数]
4,995件
(10月24日現在)



記念ロゴ

すべての人に教育を

2019年の世界寺子屋運動
30周年を記念してロゴを制作。
(協力：株式会社電通)

全国ユネスコ協会の皆様
も是非、お使いください！！

データ等ご希望の方は
事務局広報担当まで。



今後の主な主催事業日程

2018年

12月 「ユネスコスクールSDGsアシストプロジェクト」募集
12月14日(金) 未来遺産委員会 プロジェクト未来遺産選定2018

2019年

1月19日(土) 第526回理事会、第47回評議員会、新年懇親会
2月22日-23日 アクサ ユネスコ協会 減災教育プログラム 活動報告会
3月9日(土) 第527回理事会
3月26日-29日 SDGs高校生フォーラム
3月下旬 寺子屋運動支援者向けカンボジアスタディツアー
3月23日-29日 高校生向けESD国際交流プログラム派遣